

令和5年度 人権教育の取り組み

人権委員会

【はじめに】

本校では、学校教育目標を「豊かな将来を自ら切り拓く子ども」「子どもの可能性を最大限に伸ばす社会に開かれた安全安心な学校」と定め、各学部において教育活動を進めています。その教育活動の一環として、人権教育にも力を入れて取り組んでいます。児童生徒への人権教育の授業や教職員への人権研修など、本校で取り組んできた内容を紹介します。

【内 容】

○児童生徒への人権教育の取り組み

本校では、人権教育に関する目標を

- ・児童生徒が自分の良さに気づき、互いに個性を認め合い、尊重し高め合う豊かな関係を育む。
- ・相手の立場にたって考え、思いやる心と行動できる力を養う。

と掲げて、各学部で児童生徒の実態に合わせて人権教育に取り組んでいます。

人権教育の授業内容は、昨年度まで各学部学年の人権担当の教員が、児童生徒の実態を踏まえて授業内容を考えて実施していました。そのため、各学部学年で内容の重複が課題となり、今年度からは表1のように、小学部から高等部まで系統立てた内容で実施することとなりました。

(表1)

| 学部学年 | 学習内容 | 人権教育の分類 |
|----------------|--|-----------------------|
| 小学部1年生 ～5年生 | ・友だちとの適切な関わり方の学習 | ・人間関係トレーニング ・いじめ防止 |
| 小学部6年生 | ・仲間はずれや差別に関する学習 | ・同和問題 ・いじめ防止 |
| 中学部1年生 | ・互いを理解し、認め合える仲間づくりについて (動画鑑賞、アンケートの共有) | ・人間関係トレーニング ・いじめ防止 |
| 中学部2年生 | ・視覚障がいについて (動画鑑賞、アイマスク体験) | ・障がい者問題 (視覚に関する内容) |
| 中学部3年生 | ・同和問題について ・仲間づくりの意見をまとめた人権の木ボードの作成 | ・同和問題 ・いじめ防止 |
| 高等部1年生 | ・アニメ「めぐみ」(動画鑑賞、アンケートの共有) ・LGBTQに関する学習 | ・拉致問題 ・性的マイノリティ |
| 高等部2年生 | ・車いす体験 (外部講師依頼：浪速人権ネットワーク) | ・障がい者問題 (身体に関する内容) |
| 高等部3年生 | ・同和問題や差別について(時代による変遷) ・「もののけ姫」(動画鑑賞、アンケートの共有) | ・同和問題 |

系統立てて人権学習をおこなったことで、表1の〔人権教育の分類〕にも示しているように、人間関係トレーニングやいじめ防止、障がい者問題、拉致問題、性的マイノリティ、同和問題などさまざまな内容の人権学習を実施することができました。

小学部の授業の様子では、仲間はずれやいじめ、仲直りに関する学習を行いました。子どもたちからは、「弱いものいじめをしない。」「みんなで仲良く過ごす。」という意見がでて、友だちと仲良く関わることを学びました。また、中学部2年生では、視覚障がいについて学習をおこないました。アイマスクを着用した疑似体験を実施し、校内にある点字ブロックの上を、アイマスクを着用して歩きました。どの生徒も興味を持って体験する姿が見られ、「こわかった。」という意見が多数あがり、視覚障がいについて理解を深めることができました。高等部3年生では、同和問題について学びました。差別の始まりや時代の変化、解放令などの歴史的背景などについて学び、生徒からは「差別は、あってはならないこと」という意見がでました。



(生徒がアイマスクを着用し体験している様子)

また、人権の授業以外にも、全校児童生徒で育てる、「人権の木」水やりを各クラスの当番制で実施しました。昨年度、本校に「人権の木」と題してオリーブ（花言葉：平和）の苗木を植樹しました。その苗木を「なんばワンハートの木」と命名し、年間通して各クラス週替わりで水やり当番を設定しました。水やり当番を通して「命の大切さ」や「思いやりの心」を育む教育をおこないました。



(水やり当番の様子)

○教職員への人権研修の取り組み

本校では、教職員への豊かな人権感覚を育てるとともに、人権問題について確かな見方や考え方を育成するため、人権について理解を深めるさまざまな研修に取り組んできました。(表2)

| 研修名 | 実施日 | 研修内容 | 講師 |
|-----------------|--------------------|--|---------------------------|
| 拉致問題に関する研修会 | 令和5年7月 6日 | 北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」を鑑賞した。その後アンケートを実施し、内容の共有をおこなった。 | 首席 植松伸行 |
| 人権教育研修会 | 令和5年8月21日 | 演 題「浪速地区の歴史から学ぶ」 浪速地区の同和問題に関する歴史や現在の状況について学んだ。 | 浪速地区民生委員 谷口英代様 |
| 同和教育研修会 | 令和5年8月29日 | 演 題「いじめ問題と同和教育」 いじめに関する対応策や水平社宣言の内容を学び、グループ討議により意見交換をおこなった。 | 大阪市人権 同和教育研究会 小池将義様 |
| 子どもの人権尊重に関する研修会 | 令和6年1月19日 2月 2日 | 子どもの人権尊重に関わるテーマについて教職員より募集し、グループ討議により、その中からテーマを選んで意見交換をおこなった。 | 教頭 樋口公敬 |

今年度の人権に関する教職員研修会は、表2のように4つの内容について取り組んできました。教職員の事後アンケートからは、以下の意見がありました。(一部抜粋)

- ・拉致問題に関して、自分の家族が被害にあった立場だったら、と思うと非常に心が痛みました。そういう意味でもこのような事実を風化させないために、教師として自分にできることは何かを考える良い機会になりました。
- ・研修で水平社宣言について詳しく学び、同和問題は現在の「いじめ問題」にもつながっていると感じました。いじめがあった事実を消す対応ではなく、属する集団全体が当事者として考えることで、「いじめをしない土壌を作る！！」という教育としての神髄を学ばせていただきました。
- ・地域の同和問題についてご講演をいただき、未だに差別が残っている事実を知りました。まだまだ同和問題と聞くと内容が難しいイメージが強く、定期的に学ぶ必要があると感じました。

これらの意見以外にも、人権研修で学んだことの意見をたくさんいただきました。また、人権研修で学んだことを日々活かしながら、児童生徒への教育や支援に取り組みました。

【まとめ】

今年度も、児童生徒への人権学習や教職員への人権研修など、それぞれの実態や状況を鑑みながら取り組んできました。ある一定の学びは得られましたが、同和問題に関して、児童生徒向けの学習や教職員への研修内容が難しかったとの意見もあり、来年度は、それぞれの同和問題に関する内容を、少しでも理解できるものに再考し、取り組んでいきたいと思えます。